

■組み立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 材形の切断面との接触等によるけが防止のため、キャップ類は必ず取り付けてください。
- 障子の外れ・落下防止のため、下記事項を厳守してください。
 - ・障子建込みの際は、内倒しラッチのラッチ部先端を必ず縦枠ガイド部に入れてください。
 - ・障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないことを必ず確認してください。
- 雨漏りの原因になるおそれがあるため、下記事項を厳守してください。
 - ・コーキングシーラーが、下枠のまわりにはみ出るように位置を合わせてねじ止めてください。
 - ・ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。

■組立て上へのお願い

- 必ず指定のねじで組み立ててください。
- 面格子はサッシ枠に組み込んでから躯体に取り付けてください。サッシ枠が反っている場合や直角が出ていない場合、後からでは面格子を取り付けられないことがあります。
- 面格子はガラスを取り付ける前にサッシ枠に組み込んでください。
- 面格子を取外す際は、ペンチ等の工具で六角ワンウェイネジを外してください。
- FIX部へのガラス入れは、障子を建て込む前に行ってください。
- ラッチレバー・内倒しラッチ部に粉塵が入らないよう、工事期間中は養生してください。動きが重くなります。
- FIX部・障子部のガラス寸法は、それぞれダンボールに表示してありますのでご確認ください。
- 網戸は、サッシ枠に組み込んでから躯体に取り付けてください。面格子取り付け後は室内側から網戸を取り付けられません。
- 障子組立てねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。

■組立て部品・ねじ一覧表

※本文図中の①～⑤は、部品・ねじの種類を示します。

外枠組立て用		障子組立て用	
①	②	③	④
バンド タッピンねじ	Φ4×55 ナベタッピンねじ	プッシュボタン	Φ4×30 ナベタッピンねじ

形状	ねじセット	キャップセット			
	⑥ 面格子取り付けねじ	⑦ 上棧キャップ	⑧ 取付け棧キャップ	⑨ 上棧キャップ取り付けねじ	
形状					
	φ4×8六角ワンウェイねじ	なし	なし	なし	M4×10トラス小ねじ
たて格子	5~6本	左右各1個	なし	左右各1個	2本
井桁格子・横格子・ヒシクロス格子	5~6本	なし	左右各1個	左右各1個	2本

■組立て順序

1 枠の組立て

①中棧および4方の枠をねじ止めます。

2 面格子の組込み

①下枠の格子取り付け横線に面格子をのせます。
②上枠の溝に面格子上棧の上端を引っ掛けます。
③上下枠と面格子上下棧の取付け穴を合わせて六角ワンウェイねじでねじ止めます。
④端部に、上棧キャップ・取付け棧キャップをはめ込みます。

▲注意

- コーキングシーラーが、下枠のまわりにはみ出るように位置を合わせてねじ止めてください。
- ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。

▲注意

- 材形の切断面との接触等によるけが防止のため、キャップ類は必ず取り付けてください。

3 FIX部へのガラス入れ

①FIX部にガラスを入れ、押縁を取り付けます。
②後付けビードを回します。

4 障子の組立て

①ガラスにグレイジングチャンネルを回します。
②上下棧を差し込みます。
③左右縦枠を固定します。

▲注意

- ラッチ棒をラッチガイドピースに差し込んでからねじ止めてください。また、ラッチレバーを押し下げるとラッチ棒が引っ込むことを確認してください。

5 障子の建込み

①左右の内倒しラッチのつまみを内側に寄せ、ラッチ部先端の出を約6mmにします。
※このつまみのボタンは押しません。

②障子を傾け、ラッチレバーを押し下げます。(矢印①)

③障子下部のラッチ棒を矢印②・③の順で縦枠アタッチメントの一番下の角穴に入れます。

④障子をゆっくり起こします。

⑤左右の内倒しラッチのラッチ部先端が縦枠ガイド部に掛かり、カチッという音がするまで縦枠に押し付けます。

▲注意

- 障子建込みの際は、内倒しラッチのラッチ部先端を必ず縦枠ガイド部に入れてください。
- 障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないことを必ず確認してください。